



子どもたちが自慢できる学校を！

大塔っ子

佐世保市立大塔小学校

学校だより 校長 酒井元治

令和4年度 第10号 2月2日発行

コロナ禍のジレンマ

言うまでもなく新型コロナウイルスが全世界に猛威を振るって3年になる。これまでに学校ではマスクの着用を推奨したり、手指消毒を行ったり、給食では黙食を指導してきた。もちろん感染の拡大を少しでも食い止めるためのことである。ただ、3年も経つとその弊害が出ているのも事実。1年生から3年生までは給食の時間にちょっとしたおしゃべりをしながら「会食」をするという経験もしていない。それだけではなく様々な場面でのコミュニケーションの機会や人の表情から察するという経験が乏しいため、人間関係づくりでの課題が積み重なっている。



1年生生活科 凧あげの様子

海外から帰国した私が昨年4月本校に赴任し、初めての給食で黙食の様子を見た時に正直な感想として「気持ち悪い！」と思ったのを思い出す。給食の時間と言えはちょっとワイワイした感じで、終わりごろになると「ほらほら、そこいつまでもしゃべっとらんで食べんばよ。」という担任の指導が入るのが常だった。それがどうだ、廊下を歩いてもし〜んと静まり返った給食の時間は気味が悪いほどだった。（今はそこまではないが。）

コロナ禍前は給食の時間に静かに食べさせるというのは課題で、なかなか静かにならない子どもたちに終いには「ほらそこ、いいかげんにせいよ！」と怒って指導する始末。それがコロナという化け物のため日本中の学校で子どもたちを黙らせることに成功してしまった。

その一方で、ご存じの通りコロナというのは実に厄介で、感染力もインフルエンザ以上に強い。子どもたちやそのご家族の健康面での心配はもちろん、現在のルールでは家族が陽性になった場合、他の同居家族は通勤や通学ができない状態となってしまう。学級で感染拡大の恐れがあれば、各家庭にご迷惑が及ばないようにマスクの奨励や黙食を指導するしかない。

今思えば、担任に「ほらそこ、いいかげんにせいよ！」と怒られるのもコミュニケーションの一つで、たまにはこんな言葉のやり取りの中で子どもたちは育っていくのではなかろうか。このような場面はご家庭でも日常茶飯事で親子の関係づくりの一場面でもあると思う。言い方もあろうが、こんな言葉にはちょっとした親や担任の愛情を感じるところもある。そんな機会さえも奪われている。

マスクや黙食の弊害を知りながらも、予防対策を取らざるを得ないというジレンマの中で教育活動が続けている。少しずつ緩和しているものの、給食の時間に「おしゃべりしていいよ。」という言葉を出すまでには至っていない。

5月8日より新型コロナもインフルエンザ同様5類に引き下げられ、感染予防策が緩和、屋内でのマスク着用も個人の判断に委ねることになった。学校もこの規制緩和に応じる形となるだろうが、それまでの間、またはその他のことについては状況を見ながら次第に…ということになると思う。コロナ禍に置かれた学校のジレンマをご理解いただき、各ご家庭でも子どもたちの成長と感染予防ということを考えながらご協力いただきたい。

2・3月の行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
7	火	全校朝会 入学説明会（R5 入学予定保護者対象）	14	火	音楽朝会 授業参観・懇談会（5 年）
9	木	授業参観・懇談会（3 年）	15	水	3 年生クラブ活動見学
10	金	授業参観・懇談会（6 年） 学校支援会議	17	金	授業参観・懇談会（2 年）
			20	月	授業参観・懇談会（1 年）
13	月	授業参観・懇談会（4 年）	24	金	ありがとう集会
3 月					
16	木	第 29 回卒業証書授与式	24	金	修了式・離任式

令和5年度の学級編成について

2月2日現在での来年度の児童数と学級数をお知らせいたします。今後の転出入の状況によって変更することがあります。（学級数は4月で確定します。）

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
児童数	1 2 4	1 0 0	9 8	8 7	8 6	9 1
学級数	5	3	3	3	3	3
	もみじ	たんぽぽ	ひまわり 1	ひまわり 2	合計	
児童数	5	1	4	7	6 0 3	
学級数	1	1	1	1	2 4	

現在の情報では 50 名ほど、児童数増の予定です。

*国の基準では1年生から4年生までの1学級の上限は35名、5・6年生は40名ですが、長崎県は独自に1年生の上限を30名、6年生の上限を35名としています。

また、本校では様々な児童と触れ合って社会性を培ってほしいという願いから毎年クラス替えを行っています。

ご主人様、おいてかないで～！



右の写真は校長室前の落とし物置き場です。子どもたちもよく見に来ているのですが、増える一方です。寒い日が続くのに上着の落とし物もかなりあります。

2月の授業参観の折に靴置き場のある玄関に並べますので、ご確認をお願いします。

加えて、お子さんの持ち物は必ず記名をお願いいたします。

学校で子どもたちを育てませんか？

県内の小中学校は教員不足で困窮しています。小中学校の教師は小学校1年生から中学校3年生までという生涯の土台となる大切な期間に触れ合い、その成長の喜びを子どもたちや親御さんと共有できる素晴らしい職業です。

働き方のスタイルはいろいろ。フルタイム勤務もあればハーフタイム勤務もあります。教員免許の期限が失効した方でも、手続きによって勤務が可能です。

ご興味を持っていらっしゃる方は、校長室 33-8116 までお電話ください。概要を説明するとともに関係書類をお渡しします。

